

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称： トキワ保育園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 檀原 文子	定員（利用人数）： 60（62）名
所在地： 220-0062 神奈川県横浜市西区東久保町34-10	
TEL： 045-231-3335	ホームページ： http://tokiwa-hoikuen1933.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1933年12月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人二本の桜	
職員数	常勤職員： 18名 非常勤職員： 2名
専門職員	保育士 15名 栄養士 1名
	看護師 0名 調理員 1名
	用務員 0名
施設・設備の概要	居室数： 保育室3、給食室、事務室、園長室、職員室、園庭、テラス、シャワー室2 設備等： エレベーター、駐車場、駐輪場、バリアフリートイレ、太陽光パネル

③理念・基本方針

パーソナリティの基盤を築く発達段階の重要な位置である保育園生活において、親からの遺伝的要素と生活環境としての周囲の様々な環境の相互作用を理解し、最適な環境を子どもたちと一緒に創造すると同時に、児童福祉法、保育所保育指針の精神を踏まえて保育を行う。

【丈夫で体力、気力のある子どもに】

穏やかな柔らかい保育環境の中で、粗大運動や自主的な遊びなど様々な経験を通して基本的な体力を身につける。

【元気よく友達と遊べる子どもに】

社会性を獲得し始める初めての保育園生活であり、個人と集団との関係を重視し、特に集団の中での存在感を獲得するように、そして自己中心の時代から友達を意識し始める課程の中で、協調性や自主性を養えるよう働きかけたい。

【自分のことは自分で出来る子どもに】

縦割り保育を通して年齢差を自覚し、お互いに励まし合い、協力し合って基本的生活習慣を身につける。

【思いやりがあり、感性の豊かな子どもに】

優しさ、温かさ、いたわりの心等を育て、自分自身、他人に対する思いやりの心・気持ちを育み、美しい言葉を使用する。

④施設・事業所の特徴的な取組

トキワ保育園は、創立89年の歴史ある認可保育園で、2015年（平成27年）に新園舎となりました。JR保土ヶ谷駅、相鉄線天王町駅・西横浜駅からそれぞれ徒歩15分の所に立地しています。全職員が全クラスの様子を把握して、家庭的で温かい保育を行っています。0歳児は愛着関係を築くことを大切に、身近な人との人間関係や感性をはぐくむ視点で保育を行っています。1、2歳児は自分でしようとする気持ちを尊重し、自発的な活動ができるよう保育を行っています。3、4、5歳児は感染対策をしっかり行ったうえで、ワンフロアで保育を行っています。各クラスは家具や棚で仕切り、自然とほかのクラスを見ることができ、クラス間の行き来も自由で、毎日の生活で憧れや思いやりの気持ちをはぐくんでいます。食育にも力を入れ、食育計画に基づいて、子どもが収穫した夏野菜の入ったカレーを給食で提供したり、えだまめのさやむきなどで食品への関心を高め、食べることの楽しさを伝えています。給食は旬の食材を使い、天然だしなど味付けにこだわった食事を提供しています。毎月バイキングパーティーなどの特別感が感じられる行事食を提供しています。近隣の公園に散歩や自然探検に出かけ、体を思いきり動かし、四季のうつろいを感じることで感性をはぐくみます。園内にはたくさんの絵本があり、子どもが自由に手に取ることができます。園は子どもを主体として尊重することを大切にしたい保育を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月19日（契約日）～ 2022年10月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2017 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆安全に十分配慮された環境のもと、家庭的な保育を大切にしています

0～2歳児は3～5歳児と園庭でいっしょに遊ぶ機会が多く、子ども同士のさまざまな交流があります。また、0～2歳児は毎日、テラスでいっしょに過ごす時間があり、3～5歳児は同じ保育室の中で一日を過ごします。安全に十分配慮された環境のもとで、自由遊びにはブロック遊びやパズル、絵本を読むなどじっくり遊びこんでいます。異年齢の子ども同士がいっしょに過ごす中で、年齢の大きい子どもが小さい子どもの面倒を見るなど優しい気持ちがはぐくまれています。職員は一人ひとりの発達の状況、興味や関心、体質・体調などをきめこまやかに把握し、異年齢交流が安心して行われる環境で大きな家族のような家庭的な保育が行われています。

◆今行っていることを明文化するなど、手順書の見直し・整理を期待します

園の文書類は、実際には実施しているのに、文書として明文化していないものが散見されます。例えば、園では職員の育成を重視し、外部研修には積極的に参加し園内研修も行っています。しかし、個人別職員の育成計画を作成していません。外部研修は直近になって案内が来ますので、年度当初に作ることが難しいためです。職員の育成計画として個別の年度目標や日ごろの保育や面談で把握した職員の課題を一覧表にした計画を作り、その計画と合致した研修や、関連する会議や催しへの参加を計画の中に組み込んではいかがでしょうか。園内の手順書などの過不足を見直し、整理することを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

子どもたちを取り巻く社会が急速に変化している今、トキワ保育園としての「保育の質」に着目して職員と振り返りや見直しを行い日々保育を行ってきました。子どもたちの成長を一番に考えた保育をするためには、職員1人1人のモチベーションや体調管理、精神的なゆとりが必要不可欠です。保育目標やめあてだけが先走りするのではなく、しっかりと毎日の保育に反映することが大切です。職員との話し合いを重ね、無理することなく楽しめる保育環境に近づいてきました。これからも更に保育の質を高められるよう、努力していきたいと思ひます。そして今回課題となった明文化に関しては早急に対応していきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり